

News Release

2016年3月3日
株式会社野村総合研究所

大阪第二データセンターを4月27日に開業

～関西地区の新たな拠点として安全で高セキュリティのサービスを提供～

株式会社野村総合研究所（本社：東京都千代田区、代表取締役会長兼社長：嶋本正、以下「NRI」）は、関西で2カ所目となる大阪第二データセンター（以下「当センター」）の建設を完了し、4月27日にサービスを開始します。当センターは、ITホールディングスグループのTIS株式会社（本社：東京都新宿区、代表取締役会長兼社長：桑野徹、以下「TIS」）とNRIが共同で運営するデータセンター^{※1}です。

近年、首都圏の広域災害を想定したBCP（事業継続計画）および、DR（災害復旧）サイトの重要性の高まりとともに、関西地区における、ITアウトソーシングサービス、クラウドサービスの需要は拡大傾向にあります。これに応えることを目的とし、この度、関西地区の基幹センターとして当センターを建設しました。

当センターは、耐災害性、耐障害性を備えた建物・設備に加え、利用者の役割や権限に合わせてセンター内での動線を分離する等、高いレベルでのセキュリティを実現しています。あわせて、敷地内に事務棟を併設し、効率よく業務ができる敷地構成によって、作業時の利便性も確保しました。

当センターの開業により、関東地区と関西地区のデータセンターを連携した相互バックアップや機能分散など、広域災害への対策がより充実します。これにより、NRIが提供する共同利用型サービスや、SIサービスの可用性（継続して稼働できる能力）がさらに向上します。

NRIは、当センターの提供を通じて、今後もお客さまの事業継続およびビジネス拡大に、貢献していきます。

図1 BCP/DR対策における当センターの位置づけ



図2 外観



【施設概要】

- ・所在地 : 大阪／北摂地域
- ・立地特性 : 大阪湾より約20km、海拔約185m
- ・ビル概要 : 基礎免震構造、データセンター専用施設
- ・設備概要 : FISC*2準拠、JDCC*3ファシリティスタンダードティア4*4レベル準拠
- ・災害対策 : 自家発電による72時間の自立運転が可能
- ・特別高圧 : 異変電所より3回線受電(本線・予備線+予備電源線)
- ・ネットワーク : 同一キャリアの異局異経路引き込みおよびマルチキャリア対応
- ・セキュリティ設備 : 3Dボディスキャナー、入退管理システム、ITVカメラ監視、赤外線センサー、セキュリティゲート、X線検査装置 など

*1 2014年4月23日 TISと野村総合研究所の関西地区での新データセンターにおける協業について
<https://www.nri.com/jp/news/2014/140423.aspx>

*2 FISC : 金融情報システムセンター(The Center for Financial Industry Information Systems)

*3 JDCC : 特定非営利活動法人日本データセンター協会(東京都新宿区四谷4丁目29番 理事長: 大阪大学名誉教授 白川 功、正会員) データセンター事業者と主要データセンター関連事業者が参加し、IT立国の基盤を支える、データセンターのあるべき姿を追求している団体。

*4 ティア4 : 日本データセンター協会が策定したファシリティ基準「データセンターファシリティスタンダード」において規定されている基準レベルの一つ。同基準では、金融機関向けやクラウドサービスを提供するデータセンター等、それぞれのデータセンターが求めるファシリティ基準を、ティア1からティア4まで4段階に分類し、各段階においてデータセンターが備えるべき建物や、設備の基準項目および推奨項目について詳細に定めている。

【ニュースリリースに関するお問い合わせ】

株式会社野村総合研究所 コーポレートコミュニケーション部 松本、潘
TEL : 03-6270-8100 E-mail : kouhou@nri.co.jp

【ソリューションに関するお問い合わせ】

株式会社野村総合研究所 ITアウトソーシング推進部 鈴木、曾我
TEL : 03-6706-0332 E-mail : sysm-info@nri.co.jp